

WAKA-P

vol. 8
2006
7・8月号

POWER

Wakayama Culture and Arts

Contents

- アーティストメッセージ **2**
作曲家 青島広志さん
- 和歌山県文化表彰受賞者 **3**
リコーダー奏者 花岡和生さん
- 第34回和歌山県新人演奏会 **4**
- イベントガイド **5**
- 伝統芸能新世代 鯨踊り **6**
- 大好き和歌山 未来を担う子どもたち **7**
- カルチャーインフォメーション **8**



和歌山の国宝 長保寺多宝塔【海南市下津町】

長保寺は長保2年(1000年)に一条天皇の勅願によって創建されました。鎌倉時代に再建された本堂、多宝塔、大門はいずれも国宝に指定されています。創建当時は天台宗でしたが、その後、真言宗に変わりました。寛文6年(1666)初代紀州藩主・徳川頼宣は長保寺を天台宗に改め、同家の菩提寺とし、伽藍背後の山麓に廟所を創設。この廟所には紀州徳川家の墓碑などが現存しています。また境内には歴史民俗資料館もあります。

artist message

アーティスト メッセージ

お客様の興味を広げていただける演奏会を目指しています

関西元気文化圏参加事業・第39回和歌山県民文化祭参加事業として、9月8日(金)午後6時30分から和歌山県民文化会館大ホールにて、「青島広志with大阪シンフォニカー交響楽団」~本日の気分は音楽家~が開催されます。来場者も演奏に参加できるという、楽しい企画が盛り込まれた演奏会の指揮者でいらっしゃる青島広志氏に、ご自身の演奏会や音楽についてのお考えなどを伺いました。



作曲家
青島広志さん

1955年、東京生まれ。東京藝術大学大学院修士課程を首席修了。オペラ「黄金の国」が同大学の図書館に購入され、過去2回の都芸術フェスティバルで主催公演。他に「火の鳥」「黒蜥蜴」など7作のオペラに「マザー・グースの歌」などの合唱曲、ミュージカル「11ぴきのネコ」、「その後のピーターと狼」「モチモチの木」などの管弦楽曲に至るまでその作品は多方面に及びます。また、ピアニスト・執筆者としても活躍し、年間100回以上のステージの他、「音楽家ってフシギ」「青風徒然草」などの著書もあります。「題名のない音楽会21」「世界一受けたい授業」などのテレビ出演でもおなじみで、イラストの分野にも活動の場を広げるなど、マルチな才能を発揮していらっしゃいます。

館に購入され、過去2回の都芸術フェスティバルで主催公演。他に「火の鳥」「黒蜥蜴」など7作のオペラに「マザー・グースの歌」などの合唱曲、ミュージカル「11ぴきのネコ」、「その後のピーターと狼」「モチモチの木」などの管弦楽曲に至るまでその作品は多方面に及びます。また、ピアニスト・執筆者としても活躍し、年間100回以上のステージの他、「音楽家ってフシギ」「青風徒然草」などの著書もあります。「題名のない音楽会21」「世界一受けたい授業」などのテレビ出演でもおなじみで、イラストの分野にも活動の場を広げるなど、マルチな才能を発揮していらっしゃいます。

Q モーツァルト生誕250周年ということもあり、クラシック音楽が再び注目されていますが、クラシックの現在の状況をどうお考えですか？

A 確か没後200年の時にも一時はやりましたが、その後下火になってしまって、まだまだ日本にクラシックは根付いているとは思えません。しかし少し形を変えて、クラシッ

ク音楽をしている方が底辺を広げているのかなと思うことがあります。

Q ユーモラスなトークが定評の青島さんですが、ステージではどのようなスタンスで臨まれていますか？

A 普通の自分です。今、本当に体の調子もよくなって、たとえ調子が悪くても舞台上に立てば元気でいられます。それと、求められることに

キッチリ応えられるようにしています。

Q 舞台上立つ上で心懸けていること、観客に訴えたいことは？

A 常に思うことはお客様に喜んでいただきたいということです。少なからずコンサートに来て下さったということは、音楽に興味を持っていらっしゃるということ。だからそれを音だけでなく舞台やトークなども織り交ぜて、興味を広げていただけたらと思います。

Q いろいろご活躍の場を広げていらっしゃいますがその経緯は？

A 歌が原点だと思っています。それでたまたま作曲家になり、世の中のいいものを人に聞いてほしいと思ったことから指揮者になったり、ピアニストになったりする私がいるわけです。

Q 今後やってみたい新しい分野・活動はございますか？

A 作曲だけでは自分のいいたいことが伝わらないと感じています。川の「音」は表現できても「色」まではできません。ですから私は今、描くことにも傾倒しています。今後も音楽の周辺ではいいと思っていますけれど、それだけでは表現できなくなってきたんです。

Q 和歌山の方々へのメッセージをお願いします。

A クラシックの全てを好きになる必要はありません。ですが是非いらしてください。きっとお楽しみいただけますよ。



写真提供：神奈川フィルハーモニー管弦楽団

和歌山県 文化表彰 受賞者

和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。

平成17年度 和歌山県文化奨励賞

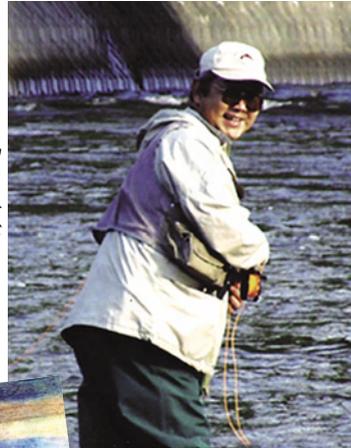
リコーダー奏者 **花岡和生**さん

昭和26年、橋本市生まれ。京都市立芸術大学音楽学部在学中にオランダ・ハーグ王立音楽院リコーダー科へ留学。昭和51年ソリスト・ディプロマを得て卒業。同時にニコライ賞を受賞し、オランダ国家公認演奏家試験にノミネートされる。文化庁芸術祭優秀賞受賞。相愛大学音楽学部古楽器科非常勤講師。洗足学園大学音楽学部非常勤講師



最新CDの「THE DIVISION FLUTE」1706年にロンドンで出版されたリコーダーのためのディヴィジョン集「The Division Flute」より選曲

フライフィッシングが
趣味という花岡さん



「フランス・ブリュッヘンの音楽に魅せられ、この人に習いたいと思ったのがリコーダー奏者になった原点です」と花岡さん。京都市立芸術大学音楽学部でフルートを専攻していましたが、在学中にオランダの世界的リコーダー奏者・フランス・ブリュッヘン氏の演奏をレコードで聴き、自分の目指す音楽であると確信したそうです。リコーダーを吹きたいと自らブリュッヘン氏に手紙を書き、弟子入りを許されて、オランダへ留学することになりました。私費留学でしたので言葉の壁と生活は大変でしたが、リコーダーを極めたいという強い思いが苦勞を乗り越えさせたといいます。リコーダーのみならず室内楽も一流の指導者に学び、優秀な成

績を修め卒業。卒業後はオランダ各地で演奏会を開催しました。

昭和52年に桐朋学園大学古楽器科開設の際、客員教員として招聘され帰国。昭和53年に「オテートルアンサンプル」を結成し、ドイツ・アルヒーフレベールからレコード(文化庁芸術祭優秀賞)をリリースしました。平成8年には個人レーベル「トラウトレコード」を設立。トラウトとは清流に棲む「鱒」のことでリコーダーの澄み切った音楽性の象徴として名づけたそうです。リリースした数々のCDはレコード芸術誌特選盤に選ばれるなど高い評価を得ています。

リコーダーの歴史はルネサンスからバロックまでと古く、バロックにおいては例えばリコーダー・ソナタ

という、リコーダーと通奏低音(チェンバロとビオラダガンバ)で演奏されました。

「自分の音楽は自分で探す。習うものではない」とブリュッヘン先生に教わったといいます。その後、自分の音楽に開眼するような体験をして今は、音楽は楽しいものであるということを感じ、聴衆がリラックスし、癒されるような演奏を心がけています。母校の橋本市の小中高等学校では講演会や演奏を行い、子どもたちに音楽のすばらしさを伝えたいと思い活動しています。「今後もCD制作や演奏会で音楽の本来の形やすばらしさを伝えていきたい」と抱負を熱く語る花岡さんです。

平成17年度

きのくに芸術新人賞

人間は永遠を生きる魂の存在であるということを
絵を通し世界に発信していきたい

幼い頃から絵画展で数々の優秀賞を受賞し、才能を開花させてきた小川さん。油絵・水彩画・鉛筆画・デッサン画など、精密かつ緻密な描写力は世界的に高い評価を受けています。描くテーマは人物画が多く、近年は写実を超えた中に神性や仏性など人間の内面や魂の崇高さなど、見えないものを感じさ

せる作風に変化してきたそうです。

また地域の文化振興のため「海南市芸術家集団『LAK(ラック)』」のメンバーとして後進の指導も行っています。来秋にはパリで個展の開催予定があり、「写実を超えた写実を目指し、癒しや感動をより多くの人に感じてもらいたい」と意欲的に語ります。

洋画家

小川泰弘さん



昭和28年、海南市生まれ。東京藝術大学美術学部油画科卒。昭和57年、渡伊し、ペルージャにて制作活動に入る。以来、イタリア各地で個展を開催。昭和59年、フラットイタリア国内コンクール絵画部門第1位。平成元年帰国し、各地で個展開催。平成17年東京・大阪で個展開催。奈良芸術短期大学非常勤講師。

フレッシュな音色を会場いっぱいに関西元気文化圏参加事業 関西から

第34回和歌山県 新人演奏会 文化力

オーディションに勝ち抜いた15人の若き音楽家がチャレンジする第34回和歌山県新人演奏会。フレッシュな音色を会場いっぱいに聞かせてくれます。

【日時】7月8日(土) 【開演】午後1時(開場:午後0時30分)
【場所】和歌山県民文化会館大ホール
【入場料】1000円(自由席)

第一部

阪部 香里 [ピアノ]



自分の演奏にショパンらしさが漂えるような繊細で且つ優美な演奏が出来るよう頑張りたいと思っています。

プロフィール
紀の川市出身
演奏曲目
ショパン / スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 op.39

北野 詩乃 [ピアノ]



この春に大学を卒業し、私のこれまでの集大成になる演奏ができればと思っています。

プロフィール
和歌山市出身
演奏曲目
ラヴェル / 「鏡」より「洋上の小舟」

辻井 早紀 [ピアノ]



今回、この演奏会に出演させて頂く事ができ、幸せに思います。皆様と共に感じて頂ける様な演奏をしたいです。

プロフィール
岩出市在住
演奏曲目
ショパン / ピアノソナタ第3番 短調 op.58 第一楽章 / ショパン / 練習曲 イ短調 op.25-11「木枯し」

岸 和弘 [トロンボーン]



新人演奏会に出演できる喜びを胸に、今の自分の理想とする音を少しでも表現できるよう精一杯演奏します。

プロフィール
和歌山市在住
演奏曲目
F.ダヴィッド / トロンボーン協奏曲

中南 香菜 [アルトサクソ]



まだ和歌山では馴染の浅いクラシックのサクソフォンですが、少しでも楽しんで頂けたら幸いです。

プロフィール
和歌山市出身
演奏曲目
A.デザウクロ / プレリュード カデナンツァとフィナーレ

小池 果奈 [ピアノ]



今までピアノを続ける事を応援してくれた家族や友人に感謝の気持ちを込めて演奏したいと思います。

プロフィール
和歌山市在住
演奏曲目
ブノー / リスト編 / ファウスト・ワルツ~ 歌劇(ファウスト)のワルツによる

天羽 博和 [ピアノ]



これからも活動の場を広げていきたいと思っていますので、どうかよろしくお願い致します。

プロフィール
新宮市出身
演奏曲目
ドビュッシー / 練習曲 第8番「装飾音のための」 / ショパン / スケルツォ 第3番 嬰ハ短調 op.39

島田 知佳 [ピアノ]



リストが見て感じたであろう水の情景を、美しく繊細な音の響きで再現し、皆さんに伝えたいと思っています。

プロフィール
紀の川市出身
演奏曲目
リスト / エステ荘の噴水



第二部

佐古 渚 [ピアノ]



自分らしく、楽しい演奏ができるように、精一杯頑張りたいと思っています。

プロフィール
有田郡有田川町出身
演奏曲目
ラヴェル / 「鏡」より「道化師の朝の歌」

多田 安希子 [ピアノ]



この曲では、ベートーヴェンの穏やかな側面を感じとり、自然な流れの中で音楽をつくっていききたいと思っています。

プロフィール
和歌山市出身
演奏曲目
ベートーヴェン / 幻想曲 op.77

北村 祥子 [ピアノ]



神曲の物語が皆様の頭中に思い描かれる様な演奏をしたいと思っています。

プロフィール
和歌山市出身
演奏曲目
リスト / 巡礼の年 第2年「イタリア」より「ダンテを読んで」

藤本 啓介 [ユーフォニアム]



素晴らしい演奏が出来るよう頑張ります。そしてユーフォニアムの良さを多くの方に知って頂けたらと思います。

プロフィール
海南市出身
演奏曲目
ヘンデル / 調子の良い網屋による変奏曲 アーバン / ヴェニスの謝肉祭による変奏曲

松岡 恒介 [トランペット]



演奏会当日は、皆様の心に響くような音楽・感動をお届け出来るよう精一杯演奏致します。

プロフィール
御坊市出身
演奏曲目
O.ペーメ / トランペット協奏曲 ヘ短調 op.18

田邊 清美 [声楽]



ミミの可憐さとトスカの激しさを皆様に伝えることが出来れば嬉しいです。

プロフィール
新宮市在住
演奏曲目
ブッチェーニ / 歌劇「ラ・ボエーム」より「私の名はミミ」、ブッチェーニ / 歌劇「トスカ」より「歌に生き、恋に生き」

坂口 裕香 [声楽]



今回、新人演奏会に出演でき、大変うれしく思います。皆さんに楽しんで頂けたら嬉しいです。

プロフィール
田辺市出身
演奏曲目
シューマン / ハイン / 「ミルテの花」より「ひとり残る涙」 / ヴェルディ / ピアヴェ / 歌劇「リゴレット」より「慕わしい人の名は」

第39回 和歌山県民文化祭参加事業

9/金 当日は一緒に演奏できます
8 青島広志with大阪シンフォニカー交響楽団～本日の気分は、音楽家～ **文化力**

開演 / 午後6時30分(開場 / 午後6時)
 場所 / 県民文化会館(大ホール)
 入場料金(全席指定) / 一般2500円、学生500円(小学生から高校生まで)

発売開始日 /
 【けんぶん友の会優先電話予約】
 6月30日(金) 午前10時から
 【一般先行電話予約】7月7日(金) 午前10時から
 【一般販売】7月10日(月)

演奏曲目のうち「J・シュトラウスⅠ:ラディッキー行進曲」は客席にご来場のお客様にも一緒に参加できるプログラムです(事前に楽譜をお渡しします。当日楽器をご持参ください)。詳しくは事務局まで。



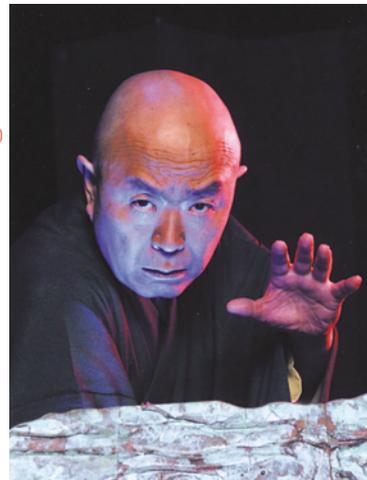
写真提供: 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

9/祝土 講談の魅力を多方面から追及
23 一龍斎貞水「立体怪談」 **文化力**

開演 / 午後2時(開場 / 午後1時30分)
 場所 / 県民文化会館(小ホール)
 入場料金(全席指定) / 一般3500円、学生2500円
 発売開始日 /

【けんぶん友の会優先電話予約】
 7月10日(月) 午前10時から
 【一般先行電話予約】7月17日(月・祝)
 【一般販売】7月22日(土)から

人間国宝の一龍斎貞水の深みのある語り口と声柄で演出する講談、笑福亭松枝の落語と寄席入門小噺など古くから人々に愛されてきた伝承芸の磨きぬかれた至高芸の公演をお楽しみください。



10/日 熱いドラマが展開するグランドオペラ
29 キエフ・オペラ「トゥーランドット」 **文化力**

開演 / 午後4時(開場午後3時30分) 場所 / 県民文化会館(大ホール)
 入場料金 / SS席14000円、S席12000円、A席9000円、B席6000円、C席(学生)3000円

発売開始日 / 【けんぶん友の会優先電話予約】6月21日(水) 午前10時から
 【一般先行電話予約】7月12日(水) 午前10時から
 【一般販売】7月14日(金)から



フィギュアスケートで話題になった「誰も寝てはならぬ!」ブッチェーニの異国情緒あふれる大いなる遺作オペラを130年あまりの歴史と伝統を持つウクライナ国立劇場が総勢210名で演じます。

11/土 歴史と伝統ある歌舞伎の和歌山公演
18 松竹大歌舞伎 九代目 松本幸四郎「勸進帳」 **文化力**

開演 / 午後1時(開場午後0時30分)
 場所 / 県民文化会館(大ホール)
 入場料金 / 一等8000円 二等6000円 三等4000円
 発売開始日 / 【けんぶん友の会優先電話予約】7月31日(月) 午前10時から
 【一般先行電話予約】8月7日(月) 午前10時から
 【一般販売】8月13日(日)から

演目は「歌舞伎囃」「吉原雀」「勸進帳」。松本幸四郎が監修を行った歌舞伎囃は解説者が舞台をより楽しく詳しく見るためのポイントをお伝えします。歌舞伎十八番「勸進帳」の弁慶役は松本幸四郎が900回も上演する当たり役です。



弁慶(松本幸四郎) 撮影/福田尚武

9/土・日 なつかしいシネマが登場
16・17 名作シネマシアター **文化力**

開演 / 両日とも午後0時30分(開場 正午)
 場所 / 県民文化会館(大ホール)
 入場料金 / 1日券400円、2日券700円、シニア券(60歳以上2日券のみ、年齢を証明するものを持参)500円
 発売開始日 / 【けんぶん友の会優先電話予約】6月23日(金)から
 【一般販売】6月28日(水)から

日本映画の名作を上映します。【9月16日】夜の河(午後0時30分～午後2時14分)「五番町夕霧楼(午後2時30分～午後4時47分)【9月17日】伊豆の踊子(午後0時30分～午後1時57分)「五瓣の椿(午後2時10分～午後4時53分)



伊豆の踊子



五番町夕霧楼

伝統
芸能

新世代

地元伝統文化を引き継ぐ
新しい世代による活動を紹介します



歌に合わせて踊る「綾踊り」と網をたくり寄せて鯨を追い込み鉢で突く姿を現す「魚踊り」からなる鯨踊り。鉢の代わりに「綾棒」を使い、力強く踊ります

捕鯨発祥地の文化を伝える 400年の伝統芸能「鯨踊り」

太地町は、古式捕鯨発祥の地として名高い「くじらの町」。現在も近海で小型捕鯨が営まれ、古式捕鯨に関する史跡も数多く残されています。

この捕鯨の歴史と文化を守り伝えていこうと、毎年8月14日には「太地浦勇魚祭」が開催されます。当日は、江戸時代に行われていた古式捕鯨「網掛け突き捕り捕鯨法」を、およそ

9mの鯨模型と勢子舟を使って再現。勇魚祭の後には、漁師たちが鯨を捕る勇壮な姿を表現した「鯨踊り」が披露されます。

この鯨踊りは、約400年前に太地に伝わり、時代とともに形を変え受け継がれてきました。踊りには大漁と海の安穩を祝う意味が込められ、捕鯨の歴史と密接な関係を持つ貴重

な伝承芸能として知られています。鯨踊りの担い手は、20人ほどのメンバーで構成される「鯨踊り保存部会」の皆さん。「太地浦勇魚祭」に限らず様々な行事に参加する一方で、地元の子供たちにも踊りを指導。「踊りを通し、鯨とともに歩んできた地元の歴史を伝えてゆきたい」と精力的に活動しています。

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター



和歌山県国際交流センターでは、海外の文化に関する様々なイベントや講座を実施しています。5月から7月までは、語学だけでなく、文化も学べる講座も開講しました。「英語で学ぼう。アフリカ文化！」「話そうフランス語。ふれてみようアフリカ文化」「ゲーテトーク。ドイツ語入門」

和歌山で世界の言葉や文化を学ぼう!

等です。英語やフランス語は現在、欧米だけでなく、世界のいろんな地域で話されています。アフリカの方から英語やフランス語を学ぶことによって、世界の歴史や地球の姿が見えてくるのではないのでしょうか。6月にサッカーワールドカップが開催されたことにより、開催国ドイツの言葉や文化に関心が寄せられています。今回、ドイツ語を受講した方々は、今一番注目されている国であるドイツについて熱心に学んでいます。

このほかにも、民間の団体との協働により、韓国語、中国語、エスペラント語、アフリカ文化講座なども開催しています。語学講座は7月で前期の授業が終了しますが、秋から後期の講座が始まる予定です。詳しくは国際交流センターにお問い合わせください。

〒640-8319 和歌山市手平2-1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8F
和歌山県国際交流センター
TEL : 073-435-5240
開館時間 / 午前10時～午後6時30分
休館日 / 水曜日・祝日(日曜日が祝日の場合は日曜日を閉館し、翌日の月曜日を休館) 年末年始



太地浦勇魚祭

祭のメインイベントは古式捕鯨「網掛け突き捕り捕鯨法」の再現ショー。盆供養の花火大会の後には、鯨踊りと鯨太鼓の勇壮なステージが始まります。

【開催日2006年8月14日】

古式捕鯨再現ショー午後5時半～、
花火大会午後8時～、鯨踊り午後8時50分～

所 太地港

交通 JR太地駅下車、駅前より臨時バスが運行

問い合わせ 太地町産業建設課 ☎0735 59 2335

We Love Wakayama

大好き 和歌山

舞台上青春の輝きを！

和歌山県高等学校演劇連盟

演劇が大好きな県内の高校生所属する演劇部が加盟する「和歌山県高等学校演劇連盟」。現在の加盟校数は18校で部員数は約130名です。連盟は紀北支部と紀南支部に分かれ、活動は支部共同の年3回の総会、夏期講習会、演劇発表会、全国大会を見に行こう会、県高校演劇祭など活発に行っています。

総会は生徒たちが自主運営し、活動計画などは顧問の先生と相談しながら決めていきます。各校の演劇部は独自に毎日、基礎トレーニングを行い、発声練習、早口言葉なども練習し、日ごろから舞台上演に向け研鑽しています。特

6月4日(土)の日に県民文化会館で行われたワークショップでは演劇演出について学びました



紀南支部6月の発表会の様子

に夏期講習会ではプロの指導者を招き、ワークショップ形式で、脚本の書き方や舞台美術、演出、演技など細かく研修しています。

上演脚本は高校生ならではの視点とテーマを持って支部ごとに高校演劇祭で発表し、県の代表を決め近畿大会に出場します。「何も無いところから新しいものを創り出し、自分の思いや考えを舞台から多くの人に伝えることができる素晴らしい活動」と事務局長の田辺高校・阿部和子先生。さらに夏期講習担当の桐蔭高校・木村真美先生は「演劇は総合芸術で一人ひとりが持てる力を発揮し、それを結集して創り上げるのが魅力であり、協力し助け合う力やコミュニケーション力も育ちます。」と語ります。毎年行われる県高校演劇祭は今秋11月11日に県民文化会館で開催されます。

未来

を

担う子どもたち

みんなで花の苗を植えたよ 園児とろう学校児童が交流



四季の郷公園の職員が指導してくれました



苗をもらって喜ぶ児童



水やりを園児に譲って

むつみ保育園(和歌山市砂山南)で、近隣の県立和歌山ろう学校の児童と園児たちが花の苗を植えました。手話を学ぶ同園年長児「言葉というのは話すだけではなく、伝えたい気持ちがあれば手話や体を使っ

て表現することもできる、そんなことを感じてほしい」と栗林恵園長。「何より子どもたち同士がもっと進んで交流できるようになれば」。和歌山ろう学校平岡巧教頭も「たくさんの人数の中で活動できることは非常に貴重なこと。いい経験になったと思います」と話していました。

カルチャーインフォメーション

和歌山県立近代美術館

☎073(436)3690

現代「日本画」の展望 -内と外のあいだで-

開催中~7月30日(日)

練馬ゆかりの奥田元宋や小野具定、間島秀徳などの作品を中心に、同館所蔵の現代日本画の代表作家稗田一穂など「日本画」と呼ばれる作品の本質にせまります。



間島秀徳 まじまひでのり Water Works No.1

【講演会】7/8(土)日本画は生きつづける?」
【ミュージアム・トーク(展示解説)】7/16(日)、7/17(月・祝) *全て午後2時~

和歌山県立近代美術館 和歌山市吹上1-4-14 ☎午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休日曜(7/17は開館、翌18日は休館) 観一般500円、大学生300円、高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料 *特別展・企画展は別料金

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

企画展 根来

~発掘された中世都市~

開催中~7月17日(月・祝)

1976年頃からの開発に伴う発掘調査により出土した資料を中心に、中世都市として栄えた根来寺の実情を紹介します。日本中世最大の繁栄を誇ったというその繁栄ぶりを知ることができます。



企画展「きのくにの文化財2006」

7月22日(土)~8月27日(日)

和歌山県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休日曜(7/17は祝日のため開館) 観一般260円 大学生150円 *高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方・外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料

万葉館

☎073(446)5553

「第17回万葉講座」 7月30日(日)午後1時30分~午後3時

「風景の歴史・万葉和歌浦」と題し、いにしえの人々も愛でた和歌山に残る万葉の風景を探ります。

【参加費】200円 先着80名【講師】立花秀澄(県文化財センター評議員)

「夏休み子供スケッチ教室」 8月6日(日)午後1時~午後3時

夏休みの宿題はもう済みましたか?

【持参するもの】水彩絵の具セット一式(水彩絵の具・パレット・水入れ・水彩筆・ハチ切り画用紙・画板・鉛筆・消しゴム等) 帽子、水筒【講師】中尾安希(洋画家)【参加費】無料【対象】小・中学生(小学校低学年は保護者同伴) 先着20名 事前申込みが必要、雨天の場合は館内に静物の写真

和歌山県立万葉館 和歌山市和歌浦南1丁目1700 ☎午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休無(年末年始及び整理点検日を除く) 観一般200円、高・大学生100円、小・中学生無料 *高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

夏期企画展「紀ノ川流域の埴輪」

7月1日(土)~9月18日(月・祝)

子ども体験教室

「昔の日時計や水時計を作ろう!」

7月30日(日)午後1時30分~午後3時30分

【対象】小学3~6年生【参加費】材料費100円【締め切り】7月17日(月・祝)



子ども体験教室「火おこし具作りと火おこし体験」

8月10日(木)午後1時30分~午後3時

【対象】小学生【参加費】材料費200円+傷害保険料103円【締め切り】7月30日(日)

*保護者、見学者は入館料のみ、各定員20名(応募者多数の場合は抽選) 資料館で直接申し込むが往復ハガキ・FAX・Eメールにて住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、紀伊風土記の丘まで

和歌山県立紀伊風土記の丘 和歌山市岩橋1411 ☎午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで) 休日曜(祝日の場合は火) 観一般170円、大学生80円、高校生以下、65歳以上、障害者の方は無料

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

特別展「どんどんひろがる帰化植物」

7月20日(木)~8月31日(木)

和歌山県内で記録されている帰化植物342種の中から、代表的な種類や話題性に富むものを取り上げ、その生育環境や私たち人間社会との関わりに注目して紹介します。



和歌山県立自然博物館 和歌山県海南市船尾370-1 ☎午前9時30分~午後5時(入館は4時30分まで) 休日曜(祝日の場合は次の平日) 観一般460円 高校生以下、65歳以上、障害者の方は無料

イベントスケジュール

10/7(土)

ニューアルバムも好評

高橋真梨子 コンサートツアー

開演/午後5時(開場午後4時30分)
場所/県民文化会館(大ホール)
入場料金/一律7500円
発売開始日/【けんぷん友の会優先電話予約】6月26日(月)午前10時から
【一般先行電話予約】7月24日(月)午前10時から
【一般販売】7月30日(日)から



11/6(月)

根強い人気がある劇団四季のミュージカル

劇団四季ミュージカル 「異国の丘」

開演/午後6時30分(開場午後6時) 場所/県民文化会館(大ホール) 入場料金/S席8400円、A席7000円、B席5000円、C席3000円 発売開始日/【けんぷん友の会優先電話予約】9月6日(水)午前10時から【一般先行電話予約】9月11日(月)午前10時から【一般販売】9月16日(土)から



撮影:中島仁寛

Wacaf(ワカフ)カルチャースクール

カリグラフィー教室

【受講日】

9月2日(土)・9日(土)・10月14日(土)・21日(土)・11月11日(土)・18日(土)・12月2日(土)・1月13日(土)・20日(土)・27日(土)

カリグラフィーは「西洋の書道」と言われ、パースディカード、クリスマスカードに見られるきれいな文字です。自分だけのカードを作って大切な方に送ってみませんか。

【開催場所】県民文化会館(会議室)【講師】西上 泉氏(カリグラフィー&レターアーツ主宰)【受講料】13000円(全10回:資料代含む)【申し込み方法】申込書に受講料を添えて県民文化会館事務局へ【受付開始】7月10日(月)から8月31日(木)まで。初日は午前10時から受付いたします。【定員】20名(先着順・定員になり次第締め切り)【問い合わせ】和歌山県文化振興財団(Wacaf) 総務企画課 ☎073-436-1331内線113

WACAF

文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成18年7月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp